

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	raumus
所在地	福岡市中央区谷 1-12-12-310
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	学術研究、専門・技術サービス業
電話番号	080-7997-7583
ホームページ	https://raumus.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	在宅勤務とフレックスタイムを基本とし、現場や打合せのある日のみ出社する柔軟な勤務形態を採用。子育てや介護と仕事の両立に配慮し、業務時間外の連絡は原則控えるルールを運用している。		
アンケート実施	○	アンケートの社内共有	○

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環	社	経		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	会	済																		
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		国籍・年齢・性別を問わず、設計の力量と意欲を基準に評価する方針。代表自身の海外での設計実務経験を有し、外国人スタッフ・協働者を受け入れる素地がある。海外の設計者・施工関係者ともプロジェクト単位で連携している。						○		○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		在宅勤務とフレックスタイムを基本とし、現場や打合せのある日のみ出社する柔軟な勤務形態を採用。子育てや介護と仕事の両立に配慮し、業務時間外の連絡は原則控えるルールを運用している。						○		○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		ハラスメントを許さない方針を明確にし、相談先を代表に一本化したうえで外部窓口(弁護士・労務専門家)にも繋げる体制をとっている。プロジェクト関係者間でも対等な協働を基本姿勢としている。						○		○	○						○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		長時間労働を是正するため、繁忙期も納期と業務量を事前調整する仕組みを運用。メンタル・身体の不調時には早期に休養を取れるよう配慮し、定期的な健康診断の受診を促している。						○	○	○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受け入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		複数の大学の非常勤講師として、学生に実践的教育を行っている。学生インターンや若手設計者の現場OJT受け入れにも対応している。						○	○		○	○							
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○		古民家再生・既存建築物の改修を主力とし、解体・新築ではなく既存躯体・建具・建材を最大限活用する設計を徹底。木材・建具など再利用可能な素材は他現場でも再使用する仕組みで、建設廃棄物の発生を抑制している。						○		○				○	○	○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○		断熱改修・自然採光・通風計画を組み込んだ設計を標準化し、運用段階のエネルギー消費を削減。事務所内ではLED照明・省エネ機器を使用し、近距離移動は徒歩・自転車・公共交通を優先している。								○				○	○				
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○		古民家再生において、地域の木材・土・石といった在来素材を可能な範囲で活用。庭や外構の計画では既存樹木の保存を優先し、地域の生態系・景観に配慮した設計を行っている。								○				○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			改修プロジェクトでは節水型の衛生器具を標準仕様とし、運営する民泊施設においても節水機器を採用。水道使用量を継続的に把握し、過剰使用を防いでいる。								○									
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		設計実務にあたっては建築基準法・関連法令の適合確認に加え、既存不適格建築物については構造・避難・防火の安全性確保を最優先に検討。竣工後も施工主からの相談を継続的に受け、必要な改善対応を行っている。						○							○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○		地域の歴史・建築ストックを活かし、空き家問題・人口減少・観光振興といった地域課題の解決に貢献する設計を実践している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			顧客・関係者の個人情報、用途を明確にしたうえで必要最小限の範囲で取得・管理。クラウドサービスは多要素認証を設定し、業務用端末・データへのアクセス管理を徹底している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			建築士法・建築基準法をはじめ、旅館業法・住宅宿泊事業法など民泊運営に関わる法令も含めて遵守。既存不適格建築物の改修では関係法令を一件ごとに精査し、行政協議を踏まえた適法な解決策を提示している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○			「既存建築の価値を翻訳し、次世代に手渡す」を経営理念として明確化し、ウェブサイト・各種媒体で対外的にも発信。受託する全プロジェクトの判断基準としてこの理念を共有している。									○	○							○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○		設計データ・契約関連書類はクラウド上にバックアップし、災害・事故発生時にも業務継続できる体制を整備。代表の知見・人脈を属人化させないため、プロジェクト記録の文書化を継続的に進めている。										○	○	○				○	